

# 新春のお慶びを 申し上げます



明けましておめでとうございます。本年も、よろしくお願いいたします。

さて、全校児童や保護者の皆様にご協力いただいた教育診断アンケートの集計が終わりました。皆様からの貴重なご意見を、今後の指導に生かしていきます。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、保護者の皆様からいただいたご意見は裏面に紹介させていただきます。アンケート結果と併せてご一読下さい。（昨年度との比較は誤差を考慮し、3%以上の増減を色分けしています）

【児童診断結果 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない】

	診断内容(児童の内容)	A	B	C	D	合計	A+B 本年度	A+B 昨年度
1	学校へ行くことが楽しい。	34	8	3	0	45	<b>93.3%</b>	95.9%
2	あいさつや返事ができる。	33	12	0	0	45	<b>100.0%</b>	89.8%
3	いじめをしないで、友達を大切にしている。	36	6	3	0	45	<b>93.3%</b>	100.0%
4	先生のお話や道徳の授業などを通して規則やルールを学んだり、命の大切さを学んだりすることができる。	37	6	2	0	45	<b>95.6%</b>	100.0%
5	掃除や奉仕活動(ギョギョランドや青木川クリーン作戦、寿会の皆さんとの合同清掃活動など)には、進んで取り組むことができる。	40	5	0	0	45	<b>100.0%</b>	95.9%
6	健康でたくましい体になるよう、体育の授業やかけ足訓練などの体育的活動にがんばって取り組んでいる。	36	5	3	1	45	<b>91.1%</b>	98.0%
7	授業は分かりやすく楽しい。	35	6	4	0	45	<b>91.1%</b>	98.0%
8	授業では、自分の意見や感想などを進んで発表している。	22	18	5	0	45	<b>88.9%</b>	83.7%
9	授業では、友達の意見や感想をしっかりと聞くようにしている。	39	6	0	0	45	<b>100.0%</b>	98.0%
10	授業の中でタブレットを使うなど、楽しく学習ができています。	35	9	0	1	45	<b>97.8%</b>	100.0%
11	図書室または家の本などを、時間を見つけて読書している。	27	10	7	1	45	<b>82.2%</b>	81.6%
12	学校行事(運動会、学習発表会)や委員会活動(3年生以上)には、意欲的に参加している。	37	8	0	0	45	<b>100.0%</b>	98.0%
13	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。	41	2	2	0	45	<b>95.6%</b>	89.8%
14	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。	39	2	4	0	45	<b>91.1%</b>	87.8%
15	私の気持ちやがんばりを分かってくれる先生がいる。	36	6	1	2	45	<b>93.3%</b>	89.8%

【保護者診断結果 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない】

	診断内容(児童の内容)	A	B	C	D	合計	A+B 本年度	A+B 昨年度
1	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	17	22	6	0	45	86.7%	87.8%
2	子供は、進んであいさつを行い、規則正しい生活をするように努めている。	24	16	4	1	45	88.9%	91.8%
3	学校は、いじめアンケートの実施や道徳科の充実など、いじめの早期発見や対応に取り組み、命を大切にしたい思いのある学校づくりに努めている。	22	22	1	0	45	97.8%	93.9%
4	学校は、河川学習(川遊びの会、青木川クリーン作戦等)や異学年交流、緑化活動など特色のある教育活動を展開し、豊かな心を育てようとしている。	39	6	0	0	45	100.0%	100.0%
5	学校は体育の授業や部活動、かけ足訓練などを通して、自ら困難に立ち向かい、健やかにたくましく生きていこうと、子供の体力向上に努めている。	31	13	1	0	45	97.8%	98.0%
6	学校は、避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室などを通して、自然災害や交通安全、防犯などへの対応に努めている。	27	17	1	0	45	97.8%	100.0%
7	学校は子供同士で学び合う「クローバー学習」やタブレットの活用など、子供が積極的に学習に取り組める工夫をし、確かな学力を身につけさせようとしている。	27	15	3	0	45	93.3%	95.9%
8	学校は、主に算数や英語の授業で、複数の教師による指導を随時行うことで、一人一人に対して分かる授業づくりに努めている。	25	17	3	0	45	93.3%	98.0%
9	教師は、子供の能力や意欲を適切に判断し、認めてくれている。	23	17	5	0	45	88.9%	95.9%
10	学校は、学校開放(合同運動会や学習発表会などの行事や授業参観)を通して、直接保護者や地域の方が子供の様子を見られる機会を設けている。	35	10	0	0	45	100.0%	100.0%
11	学校は、各種おたより(学校だより、校長だより、学級通信)やホームページで教育活動の情報や学校の様子を知らせている。	33	12	0	0	45	100.0%	100.0%
12	学校は、保護者や地域の要望・願いに応えようと努めている。	24	20	1	0	45	97.8%	100.0%
13	保護者は、子供のことについて、学校に相談できる。	30	12	3	0	45	93.3%	91.8%
		357	199	28	1	585	95.0%	96.4%

#### ○データによる考察

児童のデータでは、「A評価+B評価」の合計の割合が全ての項目で8割を超え、その大半が9割以上という結果となりました。保護者の皆様においても、同様の結果を得ることができています。このことから、児童の姿を通して学校の教育姿勢が一定の評価を受けているものと判断します。

本年度の結果では、児童の設問8「授業では、自分の意見や感想などを進んで発表している」について、「A評価+B評価」が前年比で5%以上上昇しました。本校では昨年度より、この項目を重点項目として取り組んできており、一定の成果を上げたことを嬉しく思います。さらに子供たちが自信をもって自分の考えを発表することができるように支援していきます。

一方で、「A評価+B評価」の割合が低い項目、前年度よりも下降した項目もいくつか見られました。それらについては、以下のように分析するとともに結果を真摯に受け止め、改善に向けて努力します。

#### 【児童の設問3 「いじめをしないで友達を大切にしている」について】

本項目についてはD評価こそいませんが、3名の児童がC評価をつけています。このことから、C評価をつけた児童のいる学年で行った生活アンケート(各学期2回の計4回)の内容についての見直しを行いました。すると、「あなたはいじめられたことがありますか」の問いに対して、「ある」と答えた児童はいませんでした。このことから、ここでのC評価は設問後半の「友達を大切にしている」に対する自己評価の結果であろうと考えます。実際、授業中の友達の発言に対して、強い口調で反対するよ  
(裏面へ)

うな場面があったようです。学校としてはこの結果を、子供たちが自分の発言について振り返り、反省する態度の表れと受け止めて認めるとともに、今後も、不快な思いをする子供がいなくなるよう、友達を温かく受け入れる雰囲気づくりを進めていきます。

**【児童の設問6 「健康でたくましい体になるように、体育の授業やかけ足訓練などの体育的活動に頑張っている」について】**

2022年度に全国の小学5年生と中学2年生を対象に行われた全国体力・運動能力テストにおける愛知県の結果は、小学5年女子と中学2年男子で全国最下位、小学5年男子と中学2年女子で46位でした。この結果を受け、本校では、全校の体育の授業を体育専攻の教諭が担当し、子供たちの体力向上を目指しています。授業では、従来の活動内容に加え、鉄棒や雲梯、タイヤ跳びなどを活用した体力づくりにも取り組んでいます。子供たちは概ね楽しく授業に参加をすることができています。今回の結果では評価の低かった苦手意識をもっている子供たちも、楽しく授業に取り組めるように、今後も継続して支援をしていきます。

**【児童の設問7 「授業は分かりやすく楽しい」について】**

現行の学習指導要領では、知識の理解の質を高め、各教科の資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を実現することを目標としています。これを踏まえ、本校でもこれまでの教師主導型の授業から、子供たちが主体的・対話的に学びを深めることのできる授業形態として、昨年度から「クローバー学習」を推進しています。しかし、まだこのスタイルが完全に定着しているとは言えず、中には「教師主導の授業に比べて分かりにくい」と感じている子供もいるようです。教科の学習や総合的な学習の時間を通して、主体的に学習を進めることの意義を感じられるように指導を進めていきます。

**【児童の設問11 「図書室または家の本などを、時間を見つけて読書している」について】**

昨年度も他の設問に比べ評価が高くなかった項目です。図書委員会が主催する読書週間や本年度より復活した有志の保護者によるお話図書館、校長による読み聞かせなど、本に触れる機会を意図的に増やしてきましたが、まだ目立った成果は出ていません。しかし、ちょうど本調査の実施時期と重なった本年度第2回の読書週間では、多くの児童が進んで本に触れることができていました。来年度の調査に向けて明るい材料になるのではないかと考えています。今後も読書の面白さを伝え、読書を通して多くの人の生き方や異なる世界観に触れることのできる児童を増やしていきます。

**【児童の設問15 「私の気持ちやがんばりを分かってくれる先生がいる」について】**

この項目では、A評価をつけた児童が75%もいる反面、4.4%の児童がD評価をつけていました。これについて、我々教師はきちんと反省しなければならないと感じます。小規模校である本校の特色は、教師全員が全校の子供のことを理解し、その成長を支えていけることだと思います。しかし、ここでのD評価は、自分の気持ちやがんばりを分かってくれる先生がいないことを示すものです。保護者の設問9も同様のものであると感じます。教師全員がこのD評価のもつ意味をしっかりと受け止め、改めて児童一人一人についての理解を深め、信頼される教師になれるよう努めます。

**【保護者の設問1 「子供は学校に行くのを楽しみにしている」について】**

C評価をつけた方が6名いらっしゃいました。学年別にみると、高学年に行くにしたがってその割合が増加しています。一方で同じ内容について尋ねた児童の設問1「学校に行くことが楽しい」ではC評価をつけた児童は3名で、学年別にみると、C評価をつけたほとんどが低学年の児童でした。この結果から、保護者の皆さんが、お子さんの学年が上がるに従って、登校前の言動に敏感になっていただいているのだろうと感じました。発達段階的にも、だんだんと学校での話をしなくなる時期です。こうしたお子さんのサインに対応していただくことが良好な親子関係を築き、お子さんの内発的な力を蓄えることにつながるのではないかと思います。学校も、子供たちが楽しく登校ができるよう、職員一同努力します。ご心配な向きがありましたら、遠慮なくお知らせいただきたいと思います。

【保護者の設問8 「学校は、主に算数や英語の授業で、複数の教師による指導を随時行うことで、一人一人に対して分かる授業づくりに努めている」について】

現在、5・6年生の英語の授業は、担任(教科担任)とALT(外国人指導助手)の2人体制で、1～4年生までの英語の授業は、担任(教科担任)とST(日本人指導助手)の2人体制で授業を行っています。ALTやSTと一緒に指導に当たることによって、質の高い授業を行うことができていると考えます。

一方で、算数においては、一部を除いて複数の教師で指導に当たることができておらず、この部分でC評価が増したのではないかと分析します。現在、学校現場では、文部科学省の推進する働き方改革の一環として、勤務時間外従事時間の短縮が求められています。本校でも担任以外の教師(教務主任や教頭)の担当授業時間を多くすることにより、担任の負担軽減を図っています。これにより担任は教材研究をする時間を確保することができ、授業の質はこれまでよりも向上しているものと考えます。また、タブレットの活用により、子供たちが自らの理解度に合わせたドリル学習を進めることもできるようになってきています。これらの新しい学びの形を推進し、さらに分かる授業づくりを進めていきます。

【保護者の皆様からいただいたご意見(自由記述)から】

○毎日元気に登校してほしいという一番の願いが叶っています。ありがとうございます。

(1年生保護者)

○いつも学校が楽しいと言っています。ブドウ狩りやサッカー観戦などの行事も充実していて、体験する学習ができる点がよいと思います。学校や地域の方々のおかげだと思っています。ありがとうございます。

(3年生保護者)

○いつもありがとうございます。

(4・5年生保護者)

→ 常に魅力ある学校づくりを進めていこうと考えております。地域や保護者の皆さんにも協力していただき、さらに子供たちが楽しく登校できる学校を作っていきます。

○担任の先生以外の先生も、子供のことについてよく知って下さっていると感じています。とてもありがたい環境で過ごすことができます。

(2年生保護者)

→ こうした声をいただけることはうれしいことです。ぜひ、全ての子供たち、保護者の皆さんからこのような声をいただけるよう頑張ります。

○宿題のない水曜日は朝から下校後の過ごし方を楽しみにしています。週の間でよいリフレッシュの日となっています。

(4年生保護者)

→ 全市的にも宿題のあり方を見直す傾向にあります。学力の定着を図りつつ、子供たちにゆとりある生活を保障しながら、自発的な学習もできるように課題の与え方を検討していきます。

○コロナの流行を境になくなった行事がいろいろとある。その中には、子供たちが残念に感じていることもある。子供たちのために働き方改革をしてほしい。

(5年生保護者)

→ 刻々と変化する社会の情勢を見ながら、子供たちのためになる教育活動を模索していきます。

○校長先生と保護者の距離がとてもあるように感じます。小さい学校だからこそ、校長先生のお考えをたくさん伝えてもらいたいのに、なかなかそれができないのはもどかしく感じます。校長先生から見た子供の姿、保護者や地域への思いをもっと教えてもらいたいです。

(5年生保護者)

→ 保護者の皆さんが、校長をはじめとした職員との距離を縮め、良好な人間関係を構築しようとする気持ちの表れと受け取りました。職員の思いを理解しようというお気持ちをありがたく感じます。今後はお便りに限らず、様々な場面で我々職員の思いを皆さんに発信させていただきたいと考えます。そして、良好な人間関係のもと、職員、保護者、地域の3者が一体となってよりよい教育活動を進めていきたいと考えます。今後ご理解、ご協力をお願いします。

アンケートへのご協力ありがとうございました。皆さんの声を反映し、教育活動を進めてまいります。